

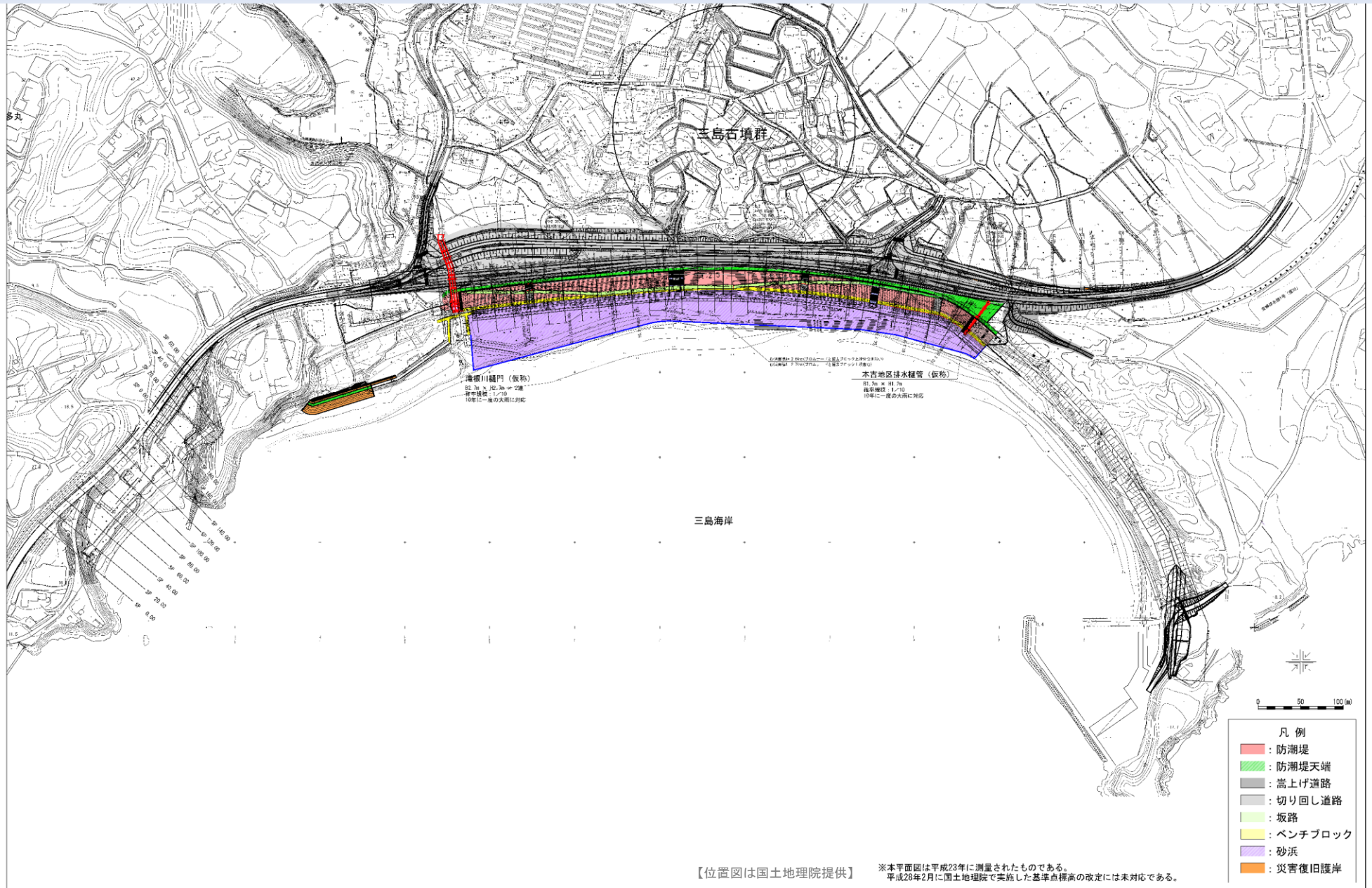


大谷地区海岸防潮堤整備計画 住民説明会 資料

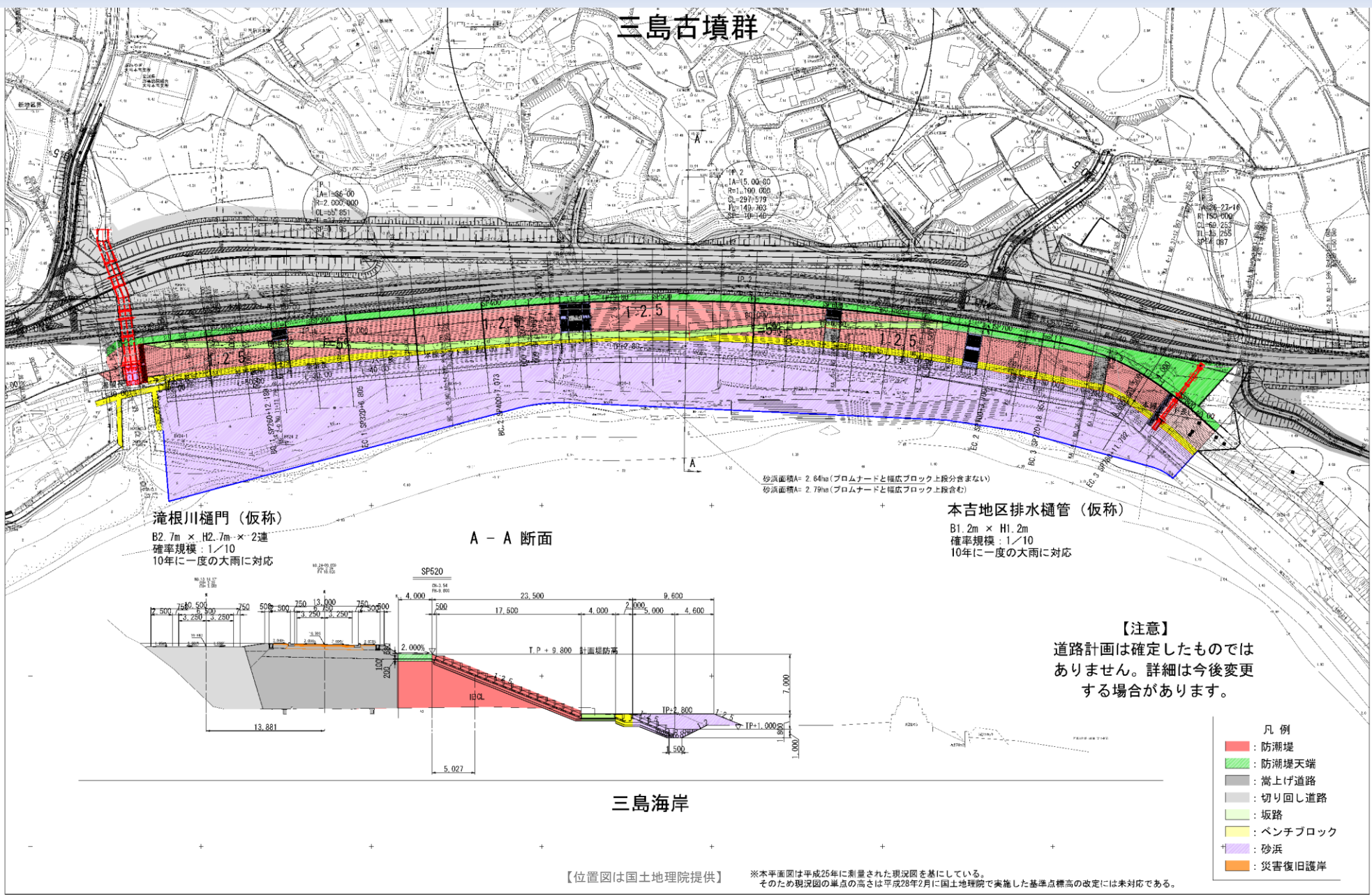
平成29年7月25日
宮城県 気仙沼土木事務所



1. 大谷海岸防潮堤整備計画 全体平面図

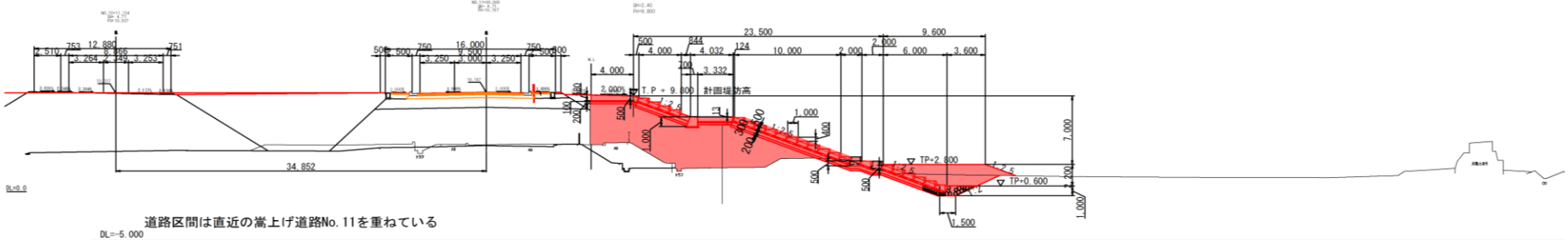


2. 大谷海岸防潮堤整備計画 防潮堤平面図



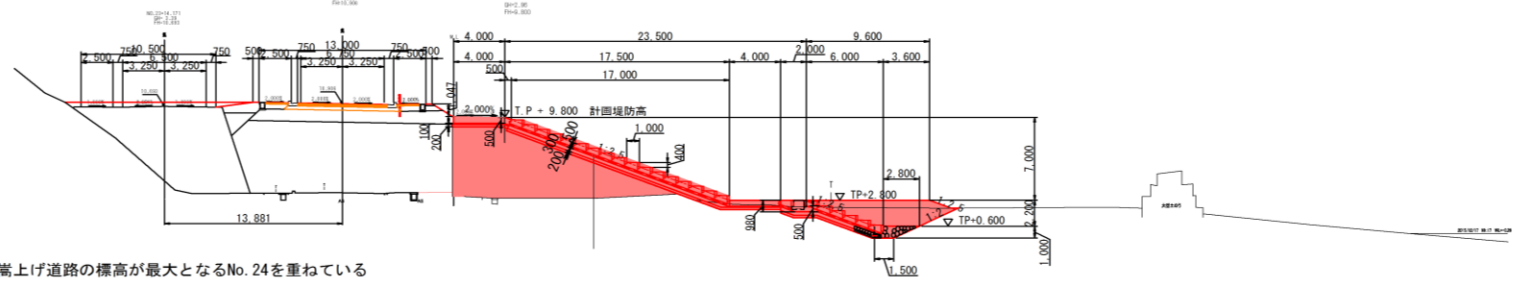
3. 大谷海岸防潮堤整備計画 防潮堤標準断面図

SP260 坂路部



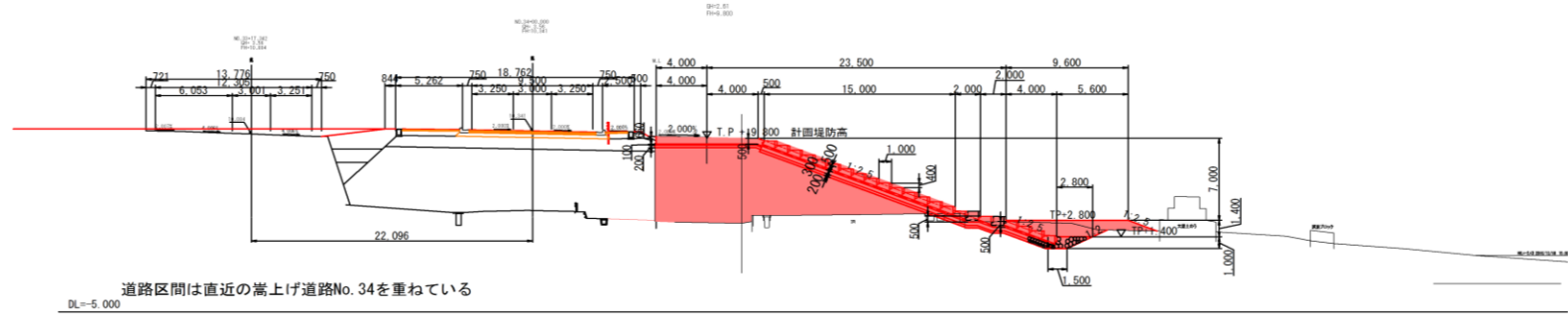
中間部

SP400



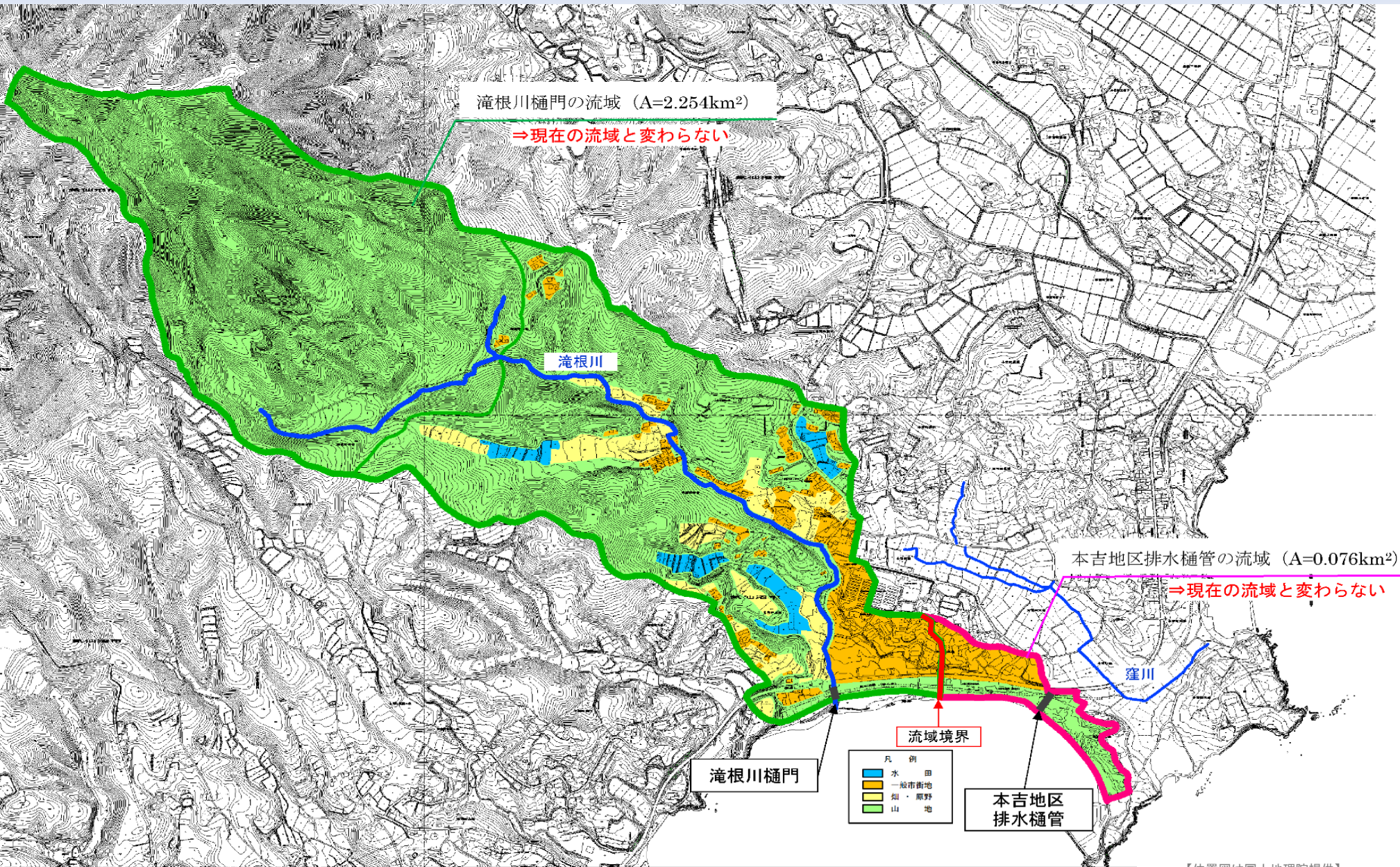
東側部

SP720



※世界測地系(測地成果2011)
 ※本横断面は平成23年東日本大震災後に生じた隆起を考慮して
 現況線を24.6m上げて表記している。

4. 大谷海岸防潮堤整備計画 排水計画



【位置図は国土地理院提供】

5. 国道45号 嵩上げ計画

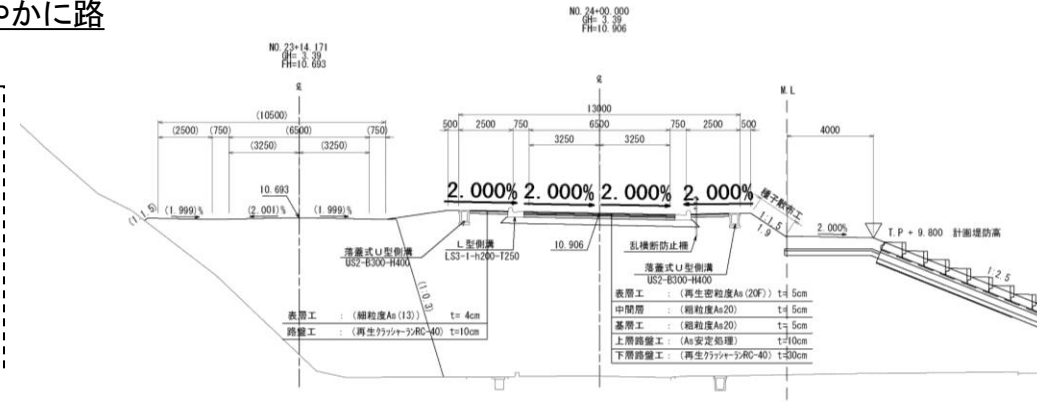
・最小についての規定は下記に示す通りである。三陸沿岸地域の主要幹線道路である国道45号について、道路利用者の安全性を確保することを目的とし、速やかに路面排水を処理するために、最小値の*i*=0.3%の縦断勾配を付することとした。

(3) 縦断勾配の最小値

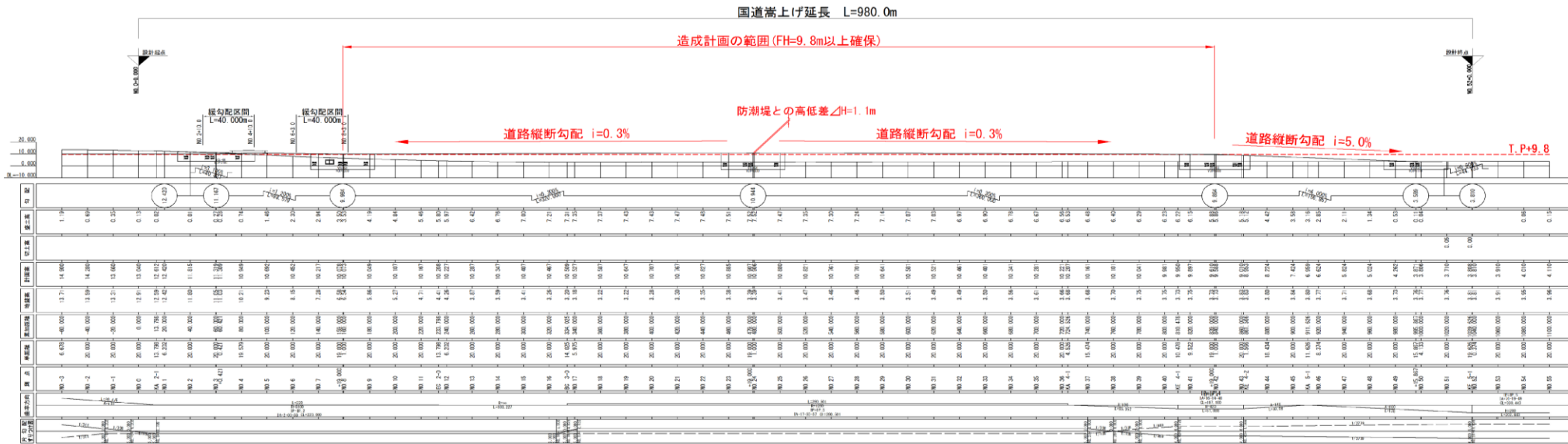
縦断勾配の値は小さいほうが望ましいが、平坦区間を長区間にわたって設置するのは問題がある。横断勾配を付して路面排水を処理するよう考えてあるが、降雨強度、縦断勾配の値、縁石の有無、排水設備の規模等により路面排水が十分に行われなかったりすることがある。このために、縦断方向にも路面排水のために、ごく小さな値の縦断勾配を付しておくのが望ましい。

この値としては、0.3 ~ 0.5%程度あれば十分である。

出典：道路構造令の解釈と運用、H27.6,P418



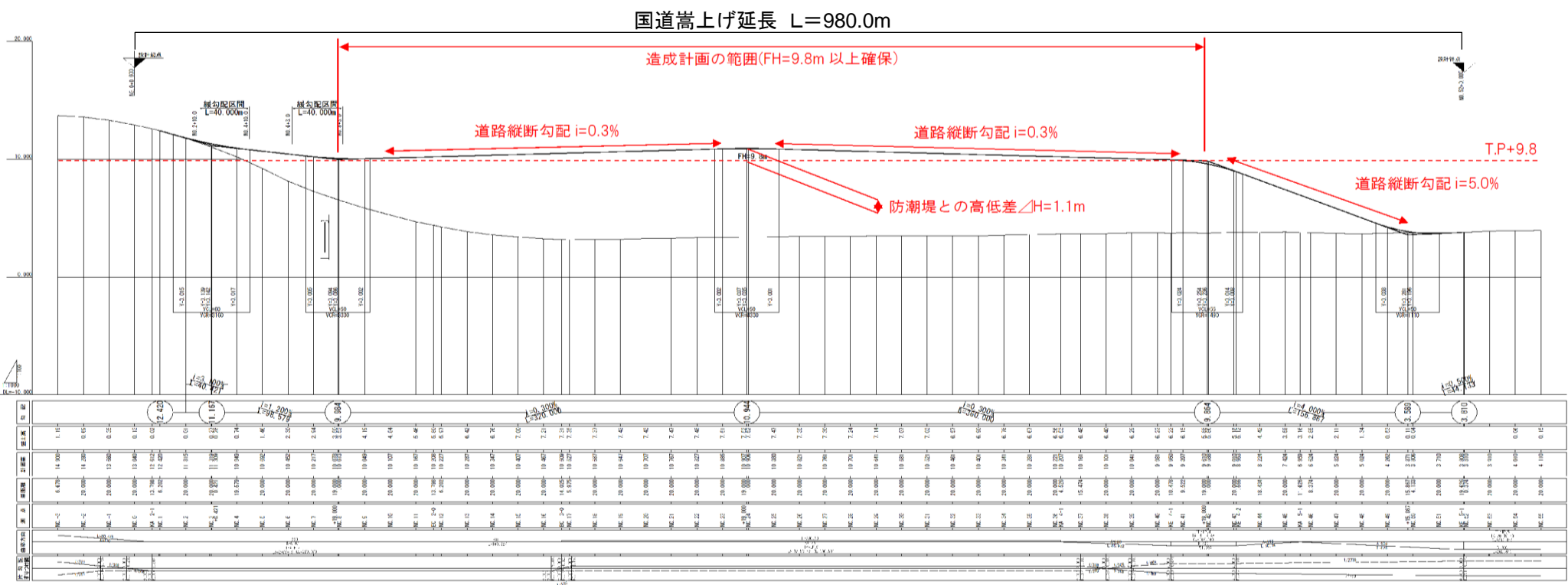
国道嵩上げ断面図(高低差最大地点)



注) 図面の縮尺は、縦横比1:1 (縦方向と横方向が等しく、実際の寸法と同じ) となっています



5. 国道45号 嵩上げ計画(補足図面)



注) 図面の縮尺は、縦横比10:1(縦方向が横方向に対して10倍の寸法)となっています

6. 大谷海岸防潮堤整備計画 イメージパース(東側鳥瞰)



6. 大谷海岸防潮堤整備計画 イメージパース(東側仰瞰)



6. 大谷海岸防潮堤整備計画 イメージパース(西側鳥瞰)



6. 大谷海岸防潮堤整備計画 イメージパース(東側仰瞰)

